

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名	男女共同参画推進行動計画策定事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	総務部	課長名	岩田 建一
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	総務課	担当者名	安武 恭一
施策の柱	45	男女共同参画社会の実現			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	男女共同参画社会基本法 合志市男女共同参画まちづくり条例	成果優先度評価結果	: ⑫	
	一般	2	1	15	11653		根拠法令	コスト削減優先度評価結果	: ③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 27 ~ 29 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「第3次合志市男女共同参画推進行動計画～パートナーシッププラン・こうし～」を策定する。事業期間は、27、28年度。平成27年度に「合志市男女共同参画に関する市民意識調査」を実施し、平成28年度に男女共同参画推進懇話会や男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で内容を協議し、「第3次推進行動計画」を策定した。27年度に市民意識調査業務委託を行い28年度に計画策定業務委託を行った。行動計画期間は、平成29年度～33年度の5年間であり、5年ごとに策定する事業である。「第4次行動計画」については、平成32年度に市民意識調査業務委託を行い33年度に計画策定業務委託を行う予定である。
【業務の流れ】	①支援コンサルタントの選定、委託契約。②市民意識調査の実施。③市民意識調査の結果を基に、男女共同参画推進懇話会、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等による協議。④計画策定支援業務委託 ⑤パブリックコメントで市民に意見を募る。⑥パブリックコメントの意見を再度、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で協議。⑦計画策定。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	計画策定支援業務委託の実施	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位):	予算の主な増減の理由
→ ア: 市民意識調査の設問数	こ	
→ イ: 懇話会、推進委員会などの延べ開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
第3次男女共同参画推進行動計画	件	→ ア: 行動計画数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
基本目標に添って策定できる	本	→ ア: 基本目標数
	%	→ イ: 数値目標を設定した推進項目/推進項目
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
男女共同参画社会の形成に繋がる		全体計画
		～29年度
		2,226

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	こ	32	0	0	0				
	イ	回	7	16	0	0				
② 対象指標	ア	件	1	1	0	0				
	イ									
③ 成果指標	ア	本	4	4	0	0				
	イ	%	0	0	0	0				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	1,037	2,699					
		(A) 事業費計	千円	1,037	2,699	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	3	0	3			
延べ業務時間	時間	10	160	0	160					
(B) 人件費計	千円	37	0	0	632					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,074	2,699	0	632					

事務事業名	男女共同参画推進行動計画策定事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 計画策定支援業務委託を行うことで目標は達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成33年度までに計画を策定するものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 男女共同参画推進行動計画作成の事務事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 計画策定までの必要経費であり削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 計画策定までの必要な人件費であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市の男女共同参画推進のための計画書であるため、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が計画書策定することとなっているため、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成27年度に市民意識調査は実施したが、回収率が33.9%と低かった。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						